



令和7年1月28日

12月調布幼稚園だより



『表現ステージに向かう子どもたち』

園長 山形美津子

秋があっという間に過ぎ去り、冬がやってきました。子どもたちは寒さに負けず、天気の良い日は、園庭やグラウンドで元気いっぱい体を動かして活動しています。インフルエンザが猛威を振るっていましたが調布幼稚園はようやく落ち着きを取り戻し、元気に登園しています。何より嬉しいことです。

先日、田園調布学園大学子ども教育学部長の内藤知美先生に保護者対象に「楽しい子育て講座」のご講演を頂きました。その中で「安心と挑戦の循環を通してこどものウェルビーイングを高める」というお話がありました。子どもは、大人の「アタッチメント（愛着）（安心）」を土台として遊びと体験（挑戦）を繰り返しながら成長していくというお話でした。

幼稚園の子どもたちの生活はまさにこの通りだと思います。家庭の愛情という安心感に見守られ、支えられて幼稚園でのいろいろな挑戦ができていますのだと感じます。心の安定や安心感がないと子どもは何かには挑戦しようという意欲は起きません。日々いろいろなことに出会い、いろいろな感情体験をしている子どもたちです。身近な大人が寄り添い、気持ちを受け止めてもらう経験を繰り返すことで安心感を得ることができ、信頼関係を育んでいくのです。

12月7日には、2学期最後の園行事として「表現ステージ」を開催します。

年少組は、「みんなで歌ったり踊ったりすることを楽しみ、お家の人に見てもらう喜びを味わう」をめあてにしています。歌ったり踊ったりすることが好きな子が多く、自分で選んだ曲を、先生や友達と一緒に楽しく踊っています。当日は舞台の上で踊るため、「ぼくは〇〇ちゃんの隣に並ぶんだよね」と、舞台上での自分の立ち位置を意識できるようになっています。衣装を身に付けてお家の人に見てもらうことを楽しみに踊る姿は、3歳児ならではの可愛さがあります。

年中組は、「お話の流れが分かり、役になりきる楽しさや同じセリフをいう楽しさを味わい、やり遂げた満足感を味わう劇づくり」を目指して練習を重ねています。1学期から「劇遊び」として、いろいろな役になって楽しんできました。その経験を生かして2つの劇の中から自分のやりたい劇を選んで練習を重ねています。今は見せるということを意識しながら取り組んでいます。友達と一緒に声を揃えてセリフを言うことや、舞台上で自分の役の動きを意識して一生懸命に役になり切ることを目指しています。

年長組は、「表現ステージを通して、自分の力を発揮したり、友達の良さに気付いたり認め合ったりする中でみんなでやり遂げた充実感や達成感を味わう」ことを目標に頑張っています。年長組は、劇と合奏、歌に取り組んでいます。2つの劇から自分のやりたい方を選んでいますが、自分たちの劇がどうしてもっといいものになるのか、日々、みんなでよりよい劇を創り上げようと練習を重ねています。大道具や小道具作りも頑張っています。劇の中で道具を動かすことも自分たちでします。

合奏では初めて使う楽器もあり、どの楽器をやってみたいか自分でよく考えて選びました。曲をよく聞いて友達の音色と合わせて演奏するのは大変なことです。繰り返し練習するうちに音が揃う喜びを味わっています。幼稚園最後の発表会です。一人一人が友達と力を合わせて成功させようという気持ちを持ち、毎日一生懸命取り組んできました。

また、2学期も後半に入り子どもたちの成長を日々感じています。子ども同士の会話の中にも成長の姿がはっきり表れています。朝の登園時に仲良しの友達を昇降口で待っていて「〇〇ちゃん、早く来ないかなー」とつぶやき、「〇〇ちゃんと一緒に遊びたいんだ」、帰りがけには友達同士で「明日も一緒に遊ぼうね」「うん、いいよ～遊ぼうね」と声を掛け合って手を振る姿。また、積み木を運ぶ時には「ぼく、ここ持つから〇〇君はそっちの方を持ってね」等々、友達を求めたり、声を掛け合ったりする姿が数多く見られます。このような会話を聞くと友達との関係が深まってきているのを感じています。子どもたちは自分の世界をぐんぐん広げています。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年間、ご理解とたくさんのご支援をありがとうございました。少し早いですが、ご家族皆様どうぞよいお年をお迎え下さい。

12月の目標

全学年

- 表現ステージを通して、舞台でみんなで歌、踊り、劇などを表現する満足感や達成感を味わう。
- 北風の冷たさを感じたり、霜が降りている様子を見たりして冬の訪れを感じ、身近な自然に興味・関心をもつ。
- ダイコンや、カブ、小松菜、ヒヤシンスなど園内で育てているものに関心を持ち、生長を楽しみにする。
- インフルエンザ等の感染予防のため、手洗いうがいをしっかり行う。

年少組

- 身近な遊具や用具を使って、ごっこ遊びや廃材を使った工作を楽しんだりする。
- 思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じたりして、かかわりを楽しむ。
- 一緒に遊んでいる友達と同じことをしたり、寄り添ったりして一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 寒さに負けずに戸外で、先生やみんなと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- お正月が来ることや、年末年始の過ごし方を知る。



年中組

- 身近な遊具や段ボールを組み合わせて、自分たちで遊びの場を作ったり、遊びに必要なものを作ったりして楽しむ。
- 友達との遊びの中で共感し合い、時には思うようにならないことを経験し相手にも思いや考えがあることに気付く。
- 伝承遊びや鬼ごっこ等体が温まる遊びを楽しみ、ルールのある遊びを通して、体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。
- お正月遊びを通して日本の伝統文化に興味をもったり、年末年始の過ごし方を知ったりする。

年長組

- コマや縄跳びなど自分のめあてに向かって取り組む。また、ドッジボールなど友達とルールを考えたり、守ったりして一緒にかかわり合って遊ぶことを楽しむ。
- 良いことや悪い事を自分で考えて、その場の状況を見て判断し、行動できるようになる。
- 新しい年を迎えるために大掃除をして部屋をきれいにし、一年の締めくくりという意識をもつ。
- お正月にまつわる話や、小正月を迎えるまでの体験を通して、日本の伝統行事に関心をもつ。



♪季節の歌♪

♪あわてんぼうのサンタクロース

吉岡 治 作詞

小林 亜星 作曲

あわてんぼうのサンタクロース クリスマスマえにやってきた
いそいでリンリンリン いそいでリンリンリン
ならしておくれよかねをリンリンリン リンリンリン リンリンリン

あわてんぼうのサンタクロース えんとつのぞいて おっこちた
あいたたドンドンドン あいたたドンドンドン
まっくろくろけのおかお ドンドンドン ドンドンドン ドンドンドン

あわてんぼうのサンタクロース しかたがないから おどったよ
たのしくチャチャチャ たのしくチャチャチャ
みんなもおどろよぼくと チャチャチャ チャチャチャ チャチャチャ

あわてんぼうのサンタクロース もいちどくるよとかえってく
さよならシャランラン さよならシャランラン
タン布林ならしてきえた シャランラン シャランラン シャランラン

あわてんぼうのサンタクロース ゆかいなおひげのおじいさん
リンリンリン チャチャチャ ドンドンドン シャランラン
わすれちゃだめだよおもちゃ シャランリン チャチャチャ ドンシャラン

♪おしょうがつ

東 くめ作詞

滝 廉太郎作曲

もういくつねると おしょうがつ
おしょうがつには たこあげて
こまをまわして あそびましょう
はやくこいこい おしょうがつ

もういくつねると おしょうがつ
おしょうがつには まりついて
おいばねついて あそびましょう
はやくこいこい おしょうがつ

